

ふれあい
さいせい

発行

済生会西条病院

2006年春号 第31号

西条市期日市269-1

TEL(0897)55-5100

新年度をむかえて

院長 黒河達雄

病気のおはなし

循環器科部長 末田章三

院内防火・避難訓練

施設主任 今井能之

ニューフェイス紹介

部署紹介

手術室・中央材料室

加茂川の土手から八堂山を望む 写真撮影 神原勝巳

新年度を迎えて

院長 黒河達雄

院長
黒河達雄

新入職員のみなさま済生会西条病院に就職されておめでとうございます。心から歓迎いたします。一日も早くそれぞれの職場になれて戦力になれるよう期待しています。

今年は桜が寒さで散るのが遅くなり、すこし長く花を楽しむことができました。このところ天候の移り変わりは目まぐるしいですが、今年度の医療界を予感させる幕開けとなりました。景気は上向いてきたと小泉首相はうれしそうに笑っていますが、われわれは追い込まれて崖っぷちに立たされています。厚生労働省のお役人は今回の診療報酬の改正案は「よく出来ているでしょう」と自画自賛しており、「あとはよく勉強をして対策を立てなさい」ということでしょうか政府は医療機関が少々こけてもむしろ歓迎するほうなので気楽なものです。そういう訳で私たちは病院の質を格上げするため大型投資をすることにしました。これによって「救急医療」と「がん治療の自院完結」をアピールし経営の安定化をめざすつもりです。職員のみなさまもよく理解して頂きご協力くださるようお願い致します。

昨年は病院機能評価の更新も一発合格し、職員のみなさんの努力は確実に形となって現れています。医師も看護師も不足していますが、しばらく我慢して頑張りましょう。これから、野山は新緑が映え、花々も競って美しく咲き誇る季節になります。自然を楽しみ、芸術を鑑賞して、楽しいお酒を飲んでストレスを溜めないようにして、笑顔で確実に仕事をこなしてくださいようお願いいたします。

病気のおはなし



血管疾患(動脈硬化) 循環器チームと動脈硬化との戦い

循環器科部長 末田 章三

食生活の欧米化により我が国でも全身の動脈硬化(多くは血管が狭くなる)が著明な患者さんが急増しています。動脈硬化を促進する因子として、**高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙・遺伝的要因・運動不足等**があげられますが、我々、循環器科医が日常臨床現場で、検査・治療させて頂く多くの患者さんが、この動脈硬化危険因子を多く持たれています。動脈硬化は全身疾患ですから、一箇所だけに動脈硬化を認めるより、一箇所に動脈硬化を発見したら、その他の部位にもある可能性が高いと考えた方がよいようです。我々は、約5年前から全身血管検索に努めてきました。心臓カテーテル検査を受けられる患者さんに、頸部動脈・腹部大動脈・腎動脈・下肢動脈造影を可能な症例に施行させて頂きました。その結果、心臓カテーテル検査連続383例中、頸動脈狭窄を15.1%、下肢動脈狭窄症を20.9%、腎動脈狭窄症を4.7%、腹部大動脈瘤を5.0%に認めました。しかし、外来を受診される患者さん全例に血管撮影が必要ではありません。そこで、3-4年前から患者さんに負担の少ない**血管エコー検査**で全身の血管検索を開始しました。2年前には**Vascular Lab(血管検査室)**を立ち上げ、臨床検査室の和田・青野技師が、頸動脈・腹部大動脈・腎動脈・下肢動脈・心臓エコー・末梢静脈も含めて精査しています。動脈硬化危険因子を多く持たれている方には、是非、年に1回の全身血管検査をお勧めします。早期発見・早期治療が大切だと思います。

我々循環器科医が、心臓の冠動脈をバルーンやステントを用いて治療をさせて頂きますが、当院では、可能な症例には、下肢動脈・腎動脈・上肢動脈等の治療もさせて頂いています。海外では、**血管治療科**として全身の血管治療をひとつの診療科で対応している施設もあるようです。現在のところ当院には血管外科がありませんが、近い将来、血管外科医と一緒に我々循環器内科医が全身の血管治療にあたる日を目指して臨床に取り組んでいます。

動脈硬化の是正には、動脈硬化危険因子の改善と、適度な運動が必要です。心臓疾患の方への心臓リハビリテーションが最近注目されています。当院でも、リハビリの山内・塩見技師とその他のコメディカルの方との協力で、**包括的心臓リハビリテーション(食事指導・禁煙指導・服薬指導・心臓病教室を含めた)**を開始する予定です。更に、心臓疾患の患者さんの中には**睡眠時無呼吸症候群**の方が多く存在することが生理検査室の藤田技師を中心とした解析で、明らかになってきました。夜間の無呼吸・低呼吸が、心臓疾患の増悪に繋がります。ご心配な患者さんは、是非、一度、循環器科を受診して頂ければと思います。

最後に、動脈硬化は血管が狭くなるばかりではなく、**血管が拡張してこぶ(動脈瘤)**になる場合もあります。この動脈瘤の手術は外科的に切開して治療していましたが、症例によってはステントグラフトを用いて血管治療が可能になってきました。我が国でも、近々認可されるようです。大きな手術痕を残さずに動脈瘤の治療が可能になる日も近いようです。昔は、血管の治療は外科的処置でしたが、循環器内科医でも治療可能な疾患が増え、より患者さんに負担の少ない治療法が開発されています。この済生会西条病院にも、多くの血管疾患で悩まれている方の治療が可能**「心臓血管センター」**が開設されることを循環器グループ一同で切望しています。



動脈硬化のくすり

動脈硬化の治療に使う主な薬には、コレステロールを下げる薬、血をサラサラにする薬などがあります。

コレステロールを下げる薬には、コレステロールが体に吸収されるのを抑える、体の中での合成を減らす、また分解を進めたり、排泄を高めるものなどがあります。

血をサラサラにする薬は、血液の中にある血小板の働きを抑えて血を固まりにくくします。

薬に関する詳しい説明は、医師または薬剤師に問い合わせ下さい。



食生活のポイント

動脈硬化を防いでしなやかな血管を目指しましょう。

- ・栄養バランスを考えた適量の食事をとる
- ・動物性たんぱく質を減らして、植物性たんぱく質(大豆・大豆製品)を増やす。
- ・野菜(ほうれん草・キャベツ・ブロッコリー・枝豆等)をたくさん食べる。
- ・塩分を控える。
- ・アルコールを控える。
- ・禁煙する。



☆お食事のことで、不安や疑問に思われることがございましたらいつでもお気軽に声をかけてください。

管理栄養士 越智 泉

院内防火・避難訓練を実施しました 施設主任 今井 能之

当院では、春と秋の全国火災予防週間に合わせ、防火訓練を実施しています。火災が発生した時「どのように行動するのか」を身に付けるには、繰り返し訓練を行う必要があります。昨年より、西条東消防署の方に訓練内容を見ていただき、問題点の指摘と指導をお願いしました。

3月には、夜間の出火を想定し「最少人数の職員でいかに早く的確な行動をするのか」という訓練をしました。回を重ねるごとに訓練の流れが、スムーズになっているように思います。どの職員も真剣できびきびとした様子でした。消防署の方からも「各隊員の行動が把握されており、迅速かつ確実に行動できた。」と講評をいただきました。

スタッフ一同、これからも防火意識の向上をはかります。また、患者の皆さまも防火にご協力下さい。



2006年度 済生会の

ニューフェイス



①氏名 ②部署 ③趣味 ④一言



- ①白形陽生
- ②整形外科部長
- ③コンピューター、ラグビー、ゴルフ
- ④関節外科、外傷を中心に勉強してきました。今後も患者さんを中心とした治療を心がけて頑張りたいと思います。



- ①藤井 裕子
- ②整形外科医長
- ③食べること
- ④体力には自信がありますので、みなさん気軽に声をかけて下さい。



- ①大下晃
- ②循環器科医師
- ③テニス
- ④平成18年4月より勤務しております。今治市出身です。

部署紹介

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室は看護師5名、看護助手2名の計7名のスタッフで構成されています。午前中は器械の滅菌業務や洗濯に励む毎日。午後は看護師5名は手術室内、看護助手は中央材料室へと業務分担しています。

外科、整形外科、泌尿器科、脳外科、眼科、皮膚科の6科、年間1000例を超える手術が昼夜を問わず24時間体制で行われています。最近、手術件数や医療機器も増え、覚えることが多くなり忙しい毎日を送っています。時間外勤務も多く、手術中、緊張したなかでの業務はストレスが溜まるものです。たまに美味しいものを食べたり、遊んだりしながらそれぞれのストレス解消法で乗り越えています。午前中は中央材料室の業務や、午後からの手術の準備で、なかなか手術室以外に出ることは少ないのですが、手術前の患者さんの部屋に術前訪問をさせていただいております。十分お話をする時間はないかもしれませんが、気軽に声をかけてください。今後も患者さんの安心、安全な看護を目標にがんばっていきます。



病院北側駐車場が広くなります!!

北隣にあった瀬戸内運輸（せとうちバス）西条車庫をこの4月から、当院の駐車場として整備することになりました。

新しい駐車場には約90台の駐車スペースがあり、この夏の完成に向けて工事も始まっています。

なお、せとうちバス・バス停「西条車庫」は「西条済生会病院前」に名称変更しています。美しい西条の自然を次の世代に残すためにも、公共交通機関のご利用をよろしく願います。

